



3分

でわかる！ ツアー・オブ・ジャパン

Q：ツアー・オブ・ジャパンって美味しいんですか？

A：申し訳ございません。ツアー・オブ・ジャパンは食べられません。ツアー・オブ・ジャパンは世界的に人気の高い国際自転車ロードレースの名称です。

自転車ロードレースは世界的に人気が高まっている注目のスポーツ！

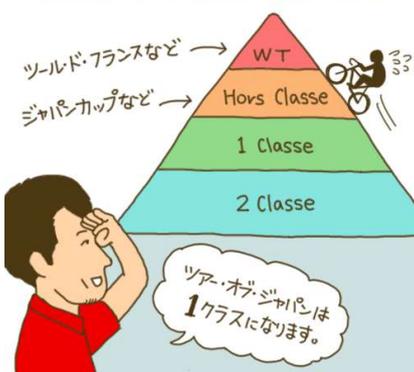
世界最大の自転車ロードレースといえば3週間をかけてフランスを一周(総走行距離約**3,500km**)するツール・ド・フランスが有名です。風が吹き荒れる平原を疾走し、標高**2,000m**を超えるアルプスやピレネーを越え、人間の限界に挑戦しながらパリ・シャンゼリゼを目指すスペクタクルなスポーツイベント、それがツール・ド・フランスです。



夏のヨーロッパが熱狂する巨大スポーツイベント

全ての自転車ロードレースのなかで頂点に立っているのはやはりツール・ド・フランス。世界約**190カ国**で放送され視聴者数は実に**35億人**に達し、総観客数は全スポーツイベントの中で最多となる**1,500万人**。ツール・ド・フランスがもたらす経済効果は絶大であり、単年の売上高は約**200億円**を超えるといわれています。通常、その国の名前を冠したステージレースは一国に一レースしかなく、我々がツアー・オブ・ジャパンは日本を代表する、まさしく**日本版ツール・ド・フランス**といえる存在なのです。

UCI公認レースは4つのカテゴリーに分類



UCI公認国際自転車ロードレースというステイタス

現在、UCI（国際自転車競技連合）公認自転車ロードレースは、上から「ワールドツアー」「HC」「1」「2」と4つのクラスに分けられています。クラスが上がれば上がるほど大会の規模が大きくなり、同時に運営難易度も上がっていきます。一般的に有名プロチームや一流選手を呼ぶためには、まずUCIの公認レースとなり、更に実績を積み上げてレースのクラスを上げていく必要があります。我々がツアー・オブ・ジャパンは、ステージレースとしては日本で唯一となる「**1クラス**」を獲得した国際大会なのです。

日本国内で開催されているUCI公認レースは、



日本には5つのUCI公認国際自転車ロードレースがあります

現在、日本国内には「ツアー・オブ・ジャパン(5月)」「ツール・ド・熊野(6月)」「ツール・ド・北海道(9月)」「ジャパンカップサイクルロードレース(10月)」「ツール・ド・おきなわ(11月)」の5つのUCI公認国際ロードレースがあります。このなかでツアー・オブ・ジャパンは**8日間8ステージ**という最大の大会規模を誇り、全体を通じた総観客数は**30万人**を超える、国内最大級の国際自転車ロードレースイベントなのです。全ステージ一般公道を使用した壮大なスポーツイベントに是非ご注目下さい。



3分 でわかる！ ツアー・オブ・ジャパン

Q：ツアー・オブ・ジャパンって自転車でなにを競っているの？

A：ツアー・オブ・ジャパンは簡単にいうと、
以下の4枚のジャージを競うスポーツなのです。

選手の“脚質”には様々な特徴があります



個人総合時間賞／各ステージの合計時間が最も少ない選手が着用
ツアー・オブ・ジャパンで一番すごいひとは緑色の
ジャージを着た総合力のある**No.1オールラウンダー**です！



個人総合ポイント賞／各ステージで獲得したポイントが最も多い選手が着用
青色のジャージを着ているひとは
高いスピードを持った**No.1スプリンター**です！



個人総合山岳賞／各ステージで獲得した山岳ポイントが最も多い選手が着用
赤色のジャージを着ているひとは
山登りが得意な**No.1クライマー**です！



新人賞／各ステージの合計時間が最も少ない25歳以下の選手が着用
白色のジャージを着ているひとは25歳以下で
個人総合時間が最も少ない**No.1ヤングライダー**です！



ステージ優勝
各ステージでトップでゴールした選手は
ステージ優勝者として賞賛されます！

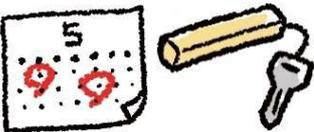
**3分****でわかる！ ツアー・オブ・ジャパン****Q：ツアー・オブ・ジャパンってどうやって観戦するの？****A：ツアー・オブ・ジャパンを観戦するということは、
旅人になるということです。****観るひとそれぞれのアイデアやスキルが観戦の可能性を広げるスポーツ**

ツアー・オブ・ジャパンは、スタジアムなどで開催されるスポーツとは違い、街や大自然のなかにある道路をフィールドに変えてしまうダイナミックなスポーツです。ツアー・オブ・ジャパンを観戦するには、旅の要素を取り入れる必要があります。

**オフィシャルホームページで観戦したいステージをチェック！**

まずはオフィシャルホームページで観戦するステージをチェック！

「5/29 堺」「5/30 京都」「5/31 美濃」「6/1 いなべ」「6/2 南信州」
「6/3 富士山」「6/4 伊豆」「6/5 東京」 <http://www.toj.co.jp/>

**あなただけの観戦プランを立てる**

自転車ロードレースを観戦するということは旅人になることだと誰かが言っていました。名所・名産品・食などをチェックし、あなただけのレース観戦プランを立ててください。

**応援グッズや、選手へ想いを伝えるための差し入れ品を準備**

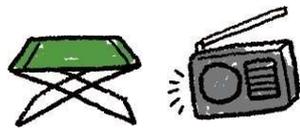
チームや選手を応援するためのバナーやノボリをつくったり、会場で直接選手に差し入れをするためのお土産品をあれこれ考えてみるのも楽しみの一つです。

**レース会場に潜むリスクとは？**

自転車ロードレース観戦は自然との対話である。日焼け、蚊、ブヨ、そして時には道なき道を歩くことも。選手と共に自然を制するべし。

**会場は暑いのか？寒いのか？快適なのか？**

自転車ロードレース会場の環境はめまぐるしく変化します。雨が降ることもあれば炎天下のなか選手へ声援を送ることもあります。スタートの時は暑かったのにゴールの時は雹が降る。オールシーズン仕様が基本のキ。

**レース展開の追い方**

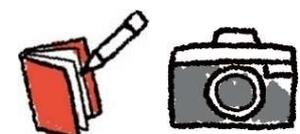
自転車ロードレースは戦いのすべてを目撃するのが不可能なスポーツです。時にインターネット中継でコースの反対側を走る選手の走りをチェックし、時にテキストライブから現在の暫定総合成績を割り出したりもします。

**腹が減っては観戦はできぬ**

レースを走る選手たちは一日に5,000kcalものエネルギーを消費します。しかし大量のカロリーを必要とするのは観戦者も同じ。突然のハンガーノックでレース観戦リタイアとならないよう補給食はしっかりと携帯しましょう。

**選手を走らせるのはあなた**

我々が考えている以上に選手たちは応援を求めています。集団から遅れそうな時に魂の声援を受けると選手たちのライフはみるみる回復するのです。

**思い出づくりの方法**

自転車ロードレースの魅力はなんといっても選手と観客の距離がとても近いところ。写真を撮ったりサインをもらったり、是非勇気をだして選手に話しかけてみて下さい、運が良ければ鍛え上げられた筋肉に触れるかも！